

令和4年度 国の施策・予算に関する提案・要望 政府予算案(都市整備関連)

令和4年1月31日

大阪府

※令和3年12月24日現在で国の各省庁からの情報により作成したものです。

《予算等の措置状況欄》 金額上段:R4年度予算額 金額下段:R3年度予算額 [全]全国枠予算 [国]国費ベース [事]事業費ベース

《摘要欄》 ○:ほぼ要望どおり措置等の見込み △:一部措置等される見込み ×:措置等されない見込み

要望・提案事項	予算等の措置状況	摘要
<p>1. ポストコロナを見据えた経済成長を支えるインフラ整備 1-1 日本経済をけん引する大阪・関西万博の着実な準備 ◇ 淀川左岸線2期事業などのインフラ整備事業にかかる「2025年日本国際博覧会関連事業計画」への位置づけ及び財政措置</p>	<p>◆予算項目以外の状況 ・R3年8月、国が策定した「大阪・関西万博に関連するインフラ整備計画」において、アクセス向上に不可欠な「淀川左岸線2期」や「関空の機能強化」、関西の成長基盤となる「なにわ筋線整備」など、府が要望した事業が全て位置付けられた。 ・R3年12月、国においてソフト・規制改革に関するアクションプランが取りまとめられた。</p>	○
<p>1-2 鉄道ネットワークの充実・強化など ◇ リニア中央新幹線・北陸新幹線の新大阪駅までの早期全線開業、駅位置の早期確定 ◇ なにわ筋線の開業に向けた財源確保等の措置 ◇ 大阪モノレール延伸に必要な財源措置及び北大阪急行延伸に必要な支援 ◇ 公共交通戦略路線(なにわ筋連絡線・新大阪連絡線など)に必要な支援 ◇ 連続立体交差事業の推進に必要な財源措置</p>	<p>◆予算措置の状況 <国土交通省> <リニア中央新幹線、北陸新幹線> ○北陸新幹線の環境影響評価等整備新幹線の工事の円滑な実施又は整備方策の検討に必要な調査 [国]13.3億円の内数 ([国]12.6億円の内数) ○(参考)北陸新幹線(金沢～敦賀間)を含む整備新幹線整備事業費 [事]2,400億円の内数 ([事]4,860億円の内数) <なにわ筋線整備> ○都市鉄道整備事業費補助(地下高速鉄道) [国]44.7億円の内数 ([国]49億円の内数) <大阪モノレール延伸・北大阪急行延伸> ○社会資本整備総合交付金 [全]5,817億円 ※R3年度補正予算を含め 6,365億円 ([全]6,311億円) <北大阪急行延伸> ○都市構造再編集中支援事業費補助 [全]700億円 ([全]700億円) <連続立体交差事業> ○補助事業(高規格道路、IC等アクセス道路その他) [全]2,106億円 ([全]2,152億円)</p>	○

要望・提案事項	予算等の措置状況	摘要
	<p>◆予算項目以外の状況</p> <p><リニア中央新幹線、北陸新幹線> ・R3年6月、「経済財政運営と改革の基本方針2021」に、「整備新幹線、リニア中央新幹線等の人流・物流ネットワークの早期整備・活用」が明記。</p> <p><なにわ筋線整備> ・整備主体である関西高速鉄道(株)において、詳細設計や用地取得を進めるとともに、R3年10月より(仮称)中之島駅、西本町駅部において、土木工事に着手。</p> <p><大阪モノレール延伸> ・延伸事業においては、詳細設計や用地取得を進めるとともに、支柱建設工事や(仮称)瓜生堂車両基地整備工事等を実施中。</p> <p>・門真新駅においては、都市計画変更の手続きや、軌道法に基づく工事施行認可変更の協議を実施中。</p> <p><北大阪急行延伸> ・事業主体である箕面市、北大阪急行電鉄(株)において、R5年度開業目標に向け、高架橋やシールトトンネル、軌道工事等を実施中。</p> <p><公共交通戦略路線> ・なにわ筋連絡線・新大阪連絡線は、国の調査結果を踏まえ、ルートや事業スキーム、整備効果などについて、関係者と検討中。</p> <p><連続立体交差事業> ・南海本線・高師浜線は、R3年5月に本線(上り線)高架化が完了し、高師浜線高架工事を実施中。</p> <p>・京阪本線は、R4年度に高架工事着手予定。引続き用地買収や支障物移設工事等を実施中。</p> <p>・阪急京都線は、早期の高架工事着手に向け、用地買収や詳細設計等を実施中。</p>	

要望・提案事項	予算等の措置状況	摘要
<p>1-3 道路ネットワークの充実・強化</p> <p>◇ 淀川左岸線の早期整備及び必要な財源確保</p> <p>◇ 新名神高速道路の早期全線完成及び6車線化の整備推進</p> <p>◇ 新御堂筋の機能強化の検討及びシームレスな料金体系の実現</p> <p>◇ 地域高規格道路の整備に必要な財源措置</p>	<p>◆予算措置の状況 <国土交通省></p> <p>○社会資本整備総合交付金 [全]5,817億円 ※R3年度補正予算を含め 6,365億円 ([全]6,311億円)</p> <p>○防災・安全交付金 [全]8,156億円の内数 ※R3年度補正予算を含め 1兆1,889億円の内数 ([全]8,540億円の内数)</p> <p>○補助事業(高規格道路、IC等アクセス道路その他) [全]2,106億円 ([全]2,152億円)</p> <p>-----</p> <p>◆予算項目以外の状況</p> <p><淀川左岸線></p> <ul style="list-style-type: none"> ・淀川左岸線2期は、事業者である大阪市、阪神高速道路(株)において、大阪・関西万博開催時のシャトルバス等に限定したアクセス利用に向けて仮設堤防設置や地盤改良等を実施中。 ・淀川左岸線延伸部は、R3年4月に「防災・減災、国土強靱化に向けた道路の5か年対策プログラム」において、R5年度に工事本格化との計画が示された。事業者である国、阪神高速道路(株)、西日本高速道路(株)において、工事の本格化に向けてシールドトンネルの予備設計や道路の切り替え工事等を実施中。 <p><新名神高速道路></p> <ul style="list-style-type: none"> ・川西～神戸間がH30年3月に供用。 ・引き続き、事業者である西日本高速道路(株)において、八幡京田辺JCT・IC～高槻JCT・IC間の暫定4車線での供用に向けて用地買収や立坑工事、橋脚工事等を実施中。 ・6車線化についても、R2年3月に整備計画を変更済み。 <p><新御堂筋の機能強化の検討及びシームレスな料金体系の実現></p> <ul style="list-style-type: none"> ・新御堂筋の機能強化については、国など関係者と検討中。 ・高速道路ネットワークを有効に活用し、都心部の渋滞緩和を図るなど、公平で利用しやすい料金体系の実現に向け、国などに対し働きかけを実施。 <p><地域高規格道路></p> <ul style="list-style-type: none"> ・国道371号は、2020年代前半の全線供用に向け、工事を実施中。 ・大阪羽曳野線((都)八尾富田林線)は、用地買収、物件調査等を実施中。 ・大阪和泉南線((都)泉州山手線)は、文化財調査、物件調査等を実施中。 	○
<p>2. 安全・安心な暮らしを支える都市インフラの形づくり</p> <p>2-1 防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策の着実な推進</p> <p>◇ 5か年加速化対策に必要な予算の別枠での確保及び5か年分の予算配分見込みの提示、当初予算における措置</p>	<p>◆予算措置の状況 <国土交通省></p> <p>○防災・安全交付金 [全]8,156億円の内数 ※R3年度補正予算を含め 1兆1,889億円の内数 ([全]8,540億円の内数)</p> <p>○一般公共事業費(治水) [全]8,484億円 ※R3年度補正予算を含め 1兆1,181億円 ([全]8,367億円)</p> <p>-----</p> <p>◆予算項目以外の状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地下河川など複数年を要する大規模事業の計画的な推進に必要な5か年分の予算配分見込みが示されていない。 ・5か年加速化対策に必要な予算について、当初予算において措置されていない。 	△

要望・提案事項	予算等の措置状況	摘要
<p>2-2 南海トラフ巨大地震の津波浸水対策</p> <p>◇ 防災・減災対策のための予算確保などさらなる支援</p>	<p>◆予算措置の状況 <国土交通省></p> <p>○防災・安全交付金</p> <p style="text-align: right;">[全] 8,156億円の内数 ※R3年度補正予算を含め 1兆1,889億円の内数 ([全]8,540億円の内数)</p> <p>○一般公共事業費(治水)</p> <p style="text-align: right;">[全]8,484億円 ※R3年度補正予算を含め 1兆1,181億円 ([全]8,367億円)</p>	○

要望・提案事項	予算等の措置状況	摘要
<p>2-3 都市型水害に備える治水対策</p> <p>◇ 寝屋川流域の総合治水対策に必要な財源措置</p> <p>◇ 三大水門の更新事業に対する予算措置</p> <p>◇ 安威川ダムの事業完成に向けた必要な財源措置</p> <p>◇ 直轄河川の治水対策</p> <p>・阪神なんば線淀川橋梁架け替え事業</p> <p>・毛馬排水機場の更新</p> <p>・大和川の治水安全度向上に向けた検討</p>	<p>◆予算措置の状況 <国土交通省></p> <p>○防災・安全交付金</p> <p style="text-align: right;">〔全〕8,156億円の内数 ※R3年度補正予算を含め 1兆1,889億円の内数 〔全〕8,540億円の内数</p> <p>○一般公共事業費(治水)</p> <p style="text-align: right;">〔全〕8,484億円 ※R3年度補正予算を含め 1兆1,181億円 〔全〕8,367億円</p> <p>○一般公共事業費(下水道)</p> <p style="text-align: right;">〔全〕614億円 ※R3年度補正予算を含め 655億円 〔全〕437億円</p> <p>◆予算項目以外の状況</p> <p>・阪神なんば線淀川橋梁架け替えなど、直轄河川の治水対策について予算確保された。</p> <p>・毛馬排水機場の更新および大和川の治水安全度向上に向けた検討について、国土交通省と協議中。</p>	○
<p>2-4 緊急輸送道路(広域緊急交通路)等における無電柱化対策</p> <p>◇ 無電柱化の推進に必要な低コスト手法の導入に係る設計指針の拡充、包括的に委託する仕組みの構築及び財源措置</p>	<p>◆予算措置の状況 <国土交通省></p> <p>○補助事業(高規格道路、IC等アクセス道路その他)</p> <p style="text-align: right;">〔全〕2,106億円 〔全〕2,152億円</p> <p>◆予算項目以外の状況</p> <p>・無電柱化推進法に基づき、国が「無電柱化推進計画」を改定(R3年5月)。</p> <p>・国の新たな計画に低コスト手法の普及拡大に関する記載は追記されたものの、沿道に建物が多い都市部など、電力・通信需要の高い地域にも対応した統一的な設計指針の策定には至っていない。</p> <p>・設計・工事を電線管理者に包括的に委託する仕組みの構築には至っていない。</p>	△
<p>2-5 都市基盤施設の老朽化対策の推進</p> <p>◇ 下水道、道路、河川、公園等の施設の長寿命化対策や更新に必要な財源措置</p> <p>◇ 施設の点検、修繕・更新計画策定などへの交付金や起債等制度の充実</p> <p>◇ 社会資本整備総合交付金の要件緩和</p>	<p>◆予算措置の状況 <国土交通省></p> <p>○一般公共事業費(インフラ老朽化対策)</p> <p style="text-align: right;">〔全〕7,204億円 ※R3年度補正予算を含め 8,308億円 〔全〕7,073億円</p> <p>○社会資本整備総合交付金</p> <p style="text-align: right;">〔全〕5,817億円 ※R3年度補正予算を含め 6,365億円 〔全〕6,311億円</p> <p>○防災・安全交付金</p> <p style="text-align: right;">〔全〕8,156億円の内数 ※R3年度補正予算を含め 1兆1,889億円の内数 〔全〕8,540億円の内数</p> <p>◆予算項目以外の状況</p> <p>・修繕・更新等に対する交付金、補助事業の適用対象の拡大など制度の充実は実現していない。</p>	△
<p>3. 誰もが安心して暮らせる大阪の実現</p> <p>3-1 ポストコロナの「新たな日常」を支える公共交通の利用環境整備の促進</p> <p>◇ 公共交通事業者の感染拡大防止策への支援</p> <p>◇ 訪日外国人旅行者受入環境整備緊急対策事業の一時的な要件緩和措置</p>	<p>◆予算措置の状況 <国土交通省></p> <p>○訪日外国人旅行者受入環境整備緊急対策事業</p> <p style="text-align: right;">〔全〕27億円 〔全〕34億円</p> <p>◆予算項目以外の状況</p> <p>・訪日外国人旅行者受入環境整備緊急対策事業における要件緩和措置については、現時点では明確になっていない。</p>	△

要望・提案事項	予算等の措置状況	摘要
<p>3-2 建設発生土の適正処理 ◇ 埋立て等行為に対する許可基準、罰則規定等を盛り込んだ建設発生土の適正処理に関する法制度の整備</p>	<p>◆予算項目以外の状況 ・建設発生土の適正処理にかかる法制度の整備について、国の「盛土による災害の防止に関する検討会」の提言を踏まえ、国土交通省ほか関係省庁において、危険な盛土等の対策として法制化を含めた検討作業が行われている。</p>	<p>△</p>

要望・提案事項	予算等の措置状況	摘要
<p>個別要望事項</p> <p>(1)道路・街路事業の推進 ◇ 通学路等における安全な歩道と自転車通行空間の確保や、密集市街地対策の推進などに必要な財源措置 など</p> <p>(2)鉄道施設の安全対策の推進及び利便性向上の取組みの促進 ◇ 可動式ホーム柵の整備促進に必要な財源措置と起債充当率の拡充及び安全対策の取組みに必要な支援 など</p> <p>(3)治水・砂防・環境整備事業の推進 ◇ 中小河川の整備などの着実な実施に必要な財源措置、ため池の事前放流に伴う損失補填など制度の充実、浄化浚渫を継続的に実施するための起債充当 など</p> <p>(4)流域下水道事業の推進 ◇ 現行の国庫補助制度の堅持及び必要な財政措置 など</p> <p>(5)公園事業の推進 ◇ 防災公園整備の推進に必要な財源措置</p> <p>(6)市街地整備事業の推進 ◇ 土地区画整理事業、市街地再開発事業などに必要な財源措置</p>	<p>◆予算措置の状況 <国土交通省></p> <p>○社会資本整備総合交付金 [全]5,817億円 ※R3年度補正予算を含め 6,365億円 ([全]6,311億円)</p> <p>○防災・安全交付金 [全]8,156億円の内数 ※R3年度補正予算を含め 1兆1,889億円の内数 ([全]8,540億円の内数)</p> <p><道路・街路事業> ○補助事業(高規格道路、IC等アクセス道路その他) [全]2,106億円 ([全]2,152億円)</p> <p>○補助事業(交通安全対策事業(通学路緊急対策)) [全]500億円</p> <p><鉄道施設の安全対策の推進> ○都市鉄道整備事業費補助(地下高速鉄道) [全]44.7億円の内数 ([全]49億円の内数)</p> <p>○鉄道施設総合安全対策事業費補助 [全]45.9億円の内数 ※R3年度補正予算を含め 102億円の内数 ([全]43億円の内数)</p> <p><治水・砂防・環境整備事業> ○一般公共事業費(治水) [全]8,484億円 ※R3年度補正予算を含め 1兆1,181億円 ([全]8,367億円)</p> <p><流域下水道事業> ○一般公共事業費(下水道) [全]614億円 ※R3年度補正予算を含め 655億円 ([全]437億円)</p> <p>-----</p> <p>◆予算項目以外の状況</p> <p><鉄道施設の安全対策等の推進> ・鉄道事業者が行う可動式ホーム柵整備の補助にかかる地方負担額の起債充当率の拡充、鉄道駅等の耐震対策の補助にかかる地方負担額の起債措置は実現していない。</p> <p><治水・砂防・環境整備事業の推進> ・ため池の治水活用を推進する制度の充実は実現していない。 ・河川のダイオキシン類などの環境基準の達成に向けた浄化浚渫に係る起債制度の充実は実現していない。</p> <p><流域下水道事業の推進> ・現行の国庫補助制度は維持された。</p>	<p>△</p>